



国際ロータリー 2590 地区

川崎麻生 ロータリークラブ

KAWASAKI ASAO ROTARY CLUB

■会長 大野 勉

■幹事 鈴木 眞一



大矢 紀

第 848 回 例会記録 平成 21 年 11 月 27 日 (金) S.A.A 委員長 志村幸男

【点 鐘】

大野会長

平成 21 年 12 月 30 日 (水) 休会

【ソング】

鈴木憲治 SAA 委員

平成 22 年 1 月 6 日 (水) 休会

四つのテスト

平成 22 年 1 月 13 日 (水) 移動例会

【ゲスト・ビジター】

大野会長

新春 4 クラブ合同例会

○清國一利様 (国際親善奨学会・学友委員長)

点鐘 : 12 時 30 分

○碓井勝次様 (川崎百合丘 RC)

場所 : 川崎日航ホテル 12 階

○孫田愛子様 (国際親善奨学会・学友)

【会長報告】

大野会長

◆川崎マリーン R.C

1. 川崎・しんゆり芸術祭 (アルテリッカしんゆり) 2010

平成 21 年 12 月 17 日 (木) 通常夜間例会→夜間移動例会

第 2 回実行委員会の開催について 12 月 2 日 (水)

クリスマス家族会

午後 6 時 30 分から 麻生区役所第 1 会議室にて

点鐘 : 18 時

2. 『友』インターネット速報 NO. 406

場所 : アサオガーデン

【幹事報告】

鈴木眞一幹事

平成 21 年 12 月 24 日 (木) 休会

1. 文書着

平成 21 年 12 月 31 日 (木) 休会

◆川崎南 R.C

平成 22 年 1 月 7 日 (木) 休会

平成 21 年 12 月 22 日 (火) 移動例会 年忘れ家族会

平成 22 年 1 月 14 日 (木) →13 日 (水) 変更

場所 : 横浜中華街「萬珍楼」

4 クラブ合同例会

平成 21 年 12 月 29 日 (火) 休会

場所 : 川崎日航ホテル

平成 22 年 1 月 5 日 (火) 休会

平成 22 年 1 月 21 日 (木) 通常夜間例会を昼例会に変更

平成 22 年 1 月 12 日 (火) →13 日 (水) に変更

◆川崎北 R.C

4 クラブ新年合同例会

平成 21 年 12 月 16 日 (水) 年忘れ家族会

平成 22 年 1 月 26 日 (火) 移動例会 新年会

場所 : ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

場所 : 横浜ロイヤルパークホテル

平成 21 年 12 月 23 日 (水) 休会

◆川崎大師 R.C

平成 21 年 12 月 23 日 (水) →22 日 (火) に変更

平成 21 年 12 月 30 日 (水) 休会

移動例会 年忘れ家族会

平成 22 年 1 月 6 日 (水) 休会

点鐘 : 18 時

◆川崎高津 R.C

場所 : ホテルインターコンチネンタル東京ベイ

平成 21 年 12 月 24 日 (木) 休会

平成 21 年 12 月 31 日 (木) 休会

第 849 回例会 12 月 4 日 (金) 理事役員会⑤ 年次総会

第 850 回例会 12 月 11 日 (金) クラブ協議会 クリスマス家族会 リハーサル

[例会日] 第 1・2 金曜日 12:30~13:30 [例会場] ホテルモリノ新百合丘 7F TEL:044-966-1300
第 3・4 金曜日 12:30~13:30 [例会場] 百合丘カントリー倶楽部 2F TEL:044-966-1300

【出席委員会】

鈴木豊成委員長

例会数	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第 848 回	24	20	4	-	83.33%
第 847 回	24	13	11	6	79.17%
第 846 回	24	19	5	3	91.67%

【ニコニコ委員会】

岸委員長

	第 848 回(件数)	合 計
ニコニコ	19 件	¥20,000

●お客様

◇碓井勝次様(川崎百合ヶ丘 RC)「お世話になります。」

●当クラブ

◇大野会長「国際親善奨学学友、孫田さん、久しぶりの浦野さん本日の卓話よろしくお願ひします。」

◇鈴木眞一幹事「清国委員長、孫田様、浦野様碓井様ようこそ」

◇佐藤会員「今日は浦野さん、卓話を頂き有りがとうございます。」

◇山下会員「昨日は、皆さんのお陰で優勝させて頂き、ありがとうございました。」

◇岸会員「森茂則会員さん、大変お世話様になります。」

◇平澤会員「昨日のゴルフご苦労様でした。」

◇河島会員「パジャネンの梅さん早く治してゴルフしましょう。」

◇安藤優会員「昨日は、ゴルフ会の皆様、いい天気で最高のでしたね。出れなくて淋しかったです。」

◇碓井会員「久しぶりの出席ですみません。」

◇梶会員「欠席で申し訳ありません。」

◇志村会員「今日はお二人様、卓話よろしくお願ひします。」

◇鈴木豊成会員「昨日ゴルフおつかれ様」

◇山崎会員、安藤則雄会員、長瀬会員、親松会員、鈴木憲治会員、森茂則会員

以上、ご協力ありがとうございます。

【ロータリー財団】

安藤則雄委員長

	第 848 回(件数)	合 計
R・財団	1 件	¥9,000

◇親松会員



ロータリー財団国際親善奨学学友委員長 清国一利 様 (本牧 RC)



浦野さんのイギリス留学の話
「イギリスのクリスマス事情のお話」



ロータリー学友会の孫田愛子さん
「イタリア留学のお話」

【四つのテスト】

山下会員

【点鐘】

大野会長

【会報委員会】

文責 森 茂則

浦野さんの卓話 「イギリスのクリスマス」

イギリスのクリスマスは、日本の正月のように、一年に一度家族が集まる貴重な機会である。留学して最初の2004年のクリスマスに、カウンセラーのデレック・プリーストマンさんのお宅に招かれた時の思い出より。

24日のクリスマス・イブは、翌日の準備で主婦は忙しい。大きなクリスマスツリーの下には数々のプレゼントが置かれ、暖炉に火が入り、その上にクリスマスカードが飾られていた。深夜に地区協会の礼拝に行くと、外国人は他におらず珍しがられたが歓待してくれた。

クリスマス当日の25日は、「クリスマスディナー」を昼から食べ始める。大きなロースト・ターキー、茹で野菜各種、濃厚なクリスマス・プディング、クリスマスケーキなど、たらふく食べて2時間くらい。食後は居間に移動してプレゼント交換。デレックさんのお孫さんたちには日本の玩具（けん玉と紙風船）をあげたところ、喜んでくれて、その場で遊んでいた。なお、翌日26日はボクシング・デイと呼ばれ、この日からクリスマス後の大売り出しが始まる。

クリスマス準備に時間をかけ盛大に祝うことは、長く厳しいヨーロッパの冬を乗り切るための知恵であると考えられる。また日頃なかなか集まらない家族全員が一堂に会して絆を確かめ合う機会として、クリスマスの宗教的意味合いの薄れた現代イギリスにおいても、やはり一年で一番大切な行事のようである。



孫田さんの卓話

1) 自己紹介

・横浜戸塚RCから07-08奨学生

ペーザロの地図、

・ペーザロの説明 ペーザロの海 アドリア海に面したビーチリゾート

ロッシーニの家、セビアの理髪師、ウィリアム・テル

・ジョアッキノ・ロッシーニの故郷、生家がある

オペラハウス、オペラ・フェスティバル 毎年夏に

留学報告しつつ イタリア留学で一番カルチャーショックを感じた

人と人とのつながり方、イタリアと日本のコミュニケーションの違いについてお話させて頂く。

ペーザロ

ペーザロの学校、Accademia internazionale di canto

毎週金曜日に入場無料の演奏会を開いており、生徒や先生も出演する。

演奏の写真

ペーザロ修道院

学校の紹介。イタリアでは多くの修道院が一般の人も住んだりホテル代わりに利用したりできるようになっている。単身赴任のお父さんや出稼ぎ労働者、男性もいた。

そうじしたり、祈ったりはないが、門限がある。6時～10時。演奏会に行くときは外泊。

不便だったが、毎日イタリア人と顔をあわせて色々話したり生活スタイルを見れたり。

顧問ロータリアンとの写真

ペルリーニさんにはすごく良くしてもらった。同じ歳の娘がいる。

初めて家族に紹介してもらって夕食を一緒にした時、娘さんが

「今度遊びにいこう、連絡する」と言われて社交辞令かと思っていたが

翌日本当にすぐメールが来てすごくうれしかった。

クリスマスディナーに呼ばれた時の写真

あちらには社交辞令がない。全く興味が無い人を誘ったりしないし、

そういう言葉をかけたりしない。

・そして、誘ってもらって遊びに行ったのは彼女の友達の新築祝い。向こうでは新築の家をお披露目するとき、トイレや子供部屋まで家の中の全てをツアーで見せる。その時は仲間5、6名で集まったが、もちろん私一人が初対面。でもすぐにうちとけておいしい手作りのモロッコ料理を頂きながらおしゃべり。

・日本だと、話しが合うかとか気をつかわせてしまうのではと心配して、なかなか仲間うちに知らない人(しかも外国人)を連れて行くことはしない。

でも向こうの人は気をつかい過ぎたりしない。向こうのペースでもてなすし、こちらもお願いがあれば普通にこちらから頼むのでそれで気をつかいあうことがない。だから人を呼んだり呼ばれたりするのが気楽だから、知らない人を仲間内に入れたりするのに抵抗が無い。

2) 知らない人同士

今までの場合は一応繋がりがあつたが全く知らない人同士でも良い意味で気を使わない、ストレスのないコミュニケーションがある。

- ・ 初めて経験したのはフィレンツェ。靴を買おうと試着しながら迷ってたら、隣のご夫人の試着につきあっていたんだ様に「そっちの方が似合う」とほめられた。

こういう事は日常茶飯事で、人が集まるとすぐに始まる。

- ・ イタリアらしいエピソードでよく語られるのが、公共の窓口での待ち時間の長さ。郵便局はとにかく待つ。明らかに客に対して職員が少ない時がほとんど。それでも客と職員が世間話をしたりしてずーっと番号札を持ったまま待ちぼうけ。そうすると、待っている人同士で始まる。

- ・ スーパーでかなりびっくりしたエピソード。カードを貸してくれたひと
電車でもびっくりしたエピソード。本のタイトルを知りたがった男性。

5) まとめ

日本では知らない人には道を尋ねたりする程度で、それ以上の事には踏み込んだりしない。イタリアでは知らない人でも言いたい事は言うし、言った後もお互いが気まずくなるような事はない。

イタリアでの生活で周りの人に何でも聞いたりする事に慣れて、日本に帰ってきた後、日本の友達に街中であまり知らない人をじろじろ見てはいけないと注意された。

イタリアでこのような場面に出会ってすごく新鮮に感じ、「言いたい事を言っていていいんだ。気をつかわなくていいんだ」と目からウロコが落ちて、開放感を感じた。

それと同時に、日本の「何も聞かずに察する」という考え方も懐かしく感じた。イタリアでの言いたいことを言うという文化は、相手を思っている事であり、それは日本の文化も同じ。相手の事を思うからこそ、余計な事を言わずに自分に出来る事をしてあげる。イタリアの文化と日本の文化は一見全く違うように見えるが、相手を思っているという根本は同じ。こういった文化の違いを目の当たりにしたことで、それまで私の中にあったコミュニケーションの考え方が大きく変わった。

- ・ イタリアで歌の勉強を出来た事はもちろんうれしい事だったが、一番私に影響を与えたのはイタリアでの人との出会いとこういった異文化を体感できた事。国際親善奨学金の目的である世界平和につながる異文化交流をして帰国する事ができたので、これからはこの体験を活かしていくとともに、こういったスピーチの機会はもちろん、日常でも周りの人たちに伝えて行き、少しずつでもロータリーの目指す世界平和へのお手伝いが出来たらと思う。

私に一年間のイタリア留学の機会を与えてくださったロータリアンの皆様とロータリー財団に心から感謝している。